

Let's Have Fun Teaching English

—From Theory to Practice—

ここから始めよう児童英語！

—理論から実践へ—

小原弥生
豊田典子
高橋まり
Steven Rogers



NAN'UN-DO



Let's Have Fun Teaching English
From Theory to Practice

Copyright © 2019
by

Yayoi Obara
Noriko Toyoda
Mari Takahashi
Steven Rogers

All rights Reserved

No part of this book may be reproduced in any form without written permission
from the authors and Nan'un-do Co., Ltd.

はしがき

本書は、こどもに英語を教えることを目指す大学生、短大生、専門学校の学生のための総合英語教科書です。さらに、現役の幼稚園教員、小学校教員、中学校教員、児童英語指導者、英語教育に興味を持つ方々も使用できる内容です。また、現職教員のスキルアップ研修用テキストとしても使用できますので、活用していただければ幸いです。(尚、本書では外国語を「英語」とします。)

小学校の外国語活動の歴史を振り返ると2011年に第5、6学年で必須となりました。そして、2020年度からは高学年(第5、6年生)が教科型となり、中学年(第3、4学年)は外国語活動として必修となっています。高学年では「聞く」「話す」に加え、「読む」「書く」指導が行われ、ますます、英語の内容や指導方法も高度になってきています。単に英語の知識や指導力のみだけでなく、第二言語習得の知識も必要とされてくるでしょう。また、保護者の英語教育に対する関心も非常に高まっていますので、教員になると様々な理論を準備しておき、質問や疑問に対して理論で答えることも必要となってきます。

このような状況下では、教員は従来の「歌って、踊って、ゲームをして」ではなく、外国語科、外国語活動の目的や目標、指導内容や方法、評価方法などをしっかりと身につけておくことが肝要です。また、英語の指導力と専門性の向上が一層求められています。そのため、この総合的な指導力に応えられるような役割を担う教科書が必要だと考えました。

児童の発達段階や集中度などを鑑みると中学校の英語教育の前倒しの形で教えていくのは難しいでしょう。児童英語の指導法、さらに学生自身の英語の能力を高める学生用教科書が必要とされています。言語教育の理論と専門的な英語の技能とともに、指導技術も要求されます。本書がこれらを踏まえて、理論とClassroom Englishに加えて、学生自身の英語力をつけることができる教科書を目指し、ニーズに答えた一冊になってくれることを願ってやみません。

私たち著者は、全員小学校教員の経験があり、実際に大学の現場で小学校教員養成課程に在籍している学生の英語の授業を担当してきました。小学校教員の多忙さは実際に経験してきましたが、現状でも常に指摘されています。是非、学生のうちに研鑽を積み、現場では基礎知識をもとに実際に児童に出会って刺激を受け、それをもとに改善し、発展してほしいと考えます。

本書の特徴

1. 学生に必要な児童英語教育に関する基本的知識・理論、指導技術を学ぶことができます。
2. 学生自身の聴解力、コミュニケーション能力、読解力、作文力が身につく活動が各レッスンに含まれています。
3. 実際にクラスで使える活動やClassroom Englishが入っています。
4. 確認問題でそのレッスンの理解度が測定できます。

◆理論

英語教育に関する基礎的な理論を身につけます。児童に英語を教える際に学んでおくべき理論が、各レッスンのテーマごとに日本語で書かれています。本書では、児童教育に携わる方にとって必須の学習指導要領、英語教授法、第二言語習得論、4技能、考える力、学習活動、評価と模擬授業などを扱います。

◆Let's Talk

レッスンテーマに関する英語での導入のための会話です。学級担任とALTが授業の打ち合わせや準備をする際の会話、学級担任やALTが授業内で児童たちと話す際の会話、授業の導入、教員間の会話などがあります。Let's TalkとConversationは個々で別の内容としているレッスンもありますが、授業の導入や発展といった課もあり、バリエーション豊かな設定となっています。

◆Conversation

様々な会話から聴解力と発信力をつけます。まず、会話を読んで空欄に入れる語を予測します。次にCDを聴いて、空欄に適語を入れます。この段階で、聴解力をつけることができます。その後、パートナーとrole play reading(役割読み)をします。ここでoverlapping(同時読み)、pair shadowing(ペアでの影読み)、read and look up(顔あげ読み)などの様々な音読の手法を取り入れながら、最終的に暗唱できるように頑張りましょう。また、学生が独自で文を変えて読むなどバリエーションをつけ、オリジナルの会話を作ることによって発信力をつけることにつながります。内容は授業内で使用される会話やゲーム、教員間の会話です。

◆Let's Read

読解力と専門知識の獲得を目的にしています。各レッスンのテーマに関する理論や実践的な教材に関する英文など幅広い内容です。長文内容を理解したかどうか確認する問題として、選択肢の中から正解を選ぶ形式の3つの設問があります。選択肢を選ぶだけでなく、その根拠を示す文を指摘する問題もあります。それによって、確実にその内容が把握できているかがわかります。行がまたがっている場合は、その文の始まっている行数と終わっている行数を書くようにしましょう。

◆知っておこう！キーワード

レッスンのテーマに関する主な単語を5つ挙げてあります。さらなる知識の修得のために、役立てましょう。

◆確認問題

レッスン全体の確認です。Let's Talk, Conversation, Let's Readの内容を理解した上で、さらに英語力を深める問題となります。整序作文問題や、指定された語を使い英文を作成する問題、さらに日本語をもとに英文を書く問題があり、平易な問題から難度の高い問題へと推移する流れとなっています。

尚、各担当は以下のとおりです。

小原弥生 はしがき, Lesson 4, Lesson 5, Lesson 6, Lesson 7, Lesson 8
豊田典子 Lesson 1, Lesson 2, Lesson 3, Lesson 12, Lesson 13, Lesson 15
高橋まり Lesson 9, Lesson 10, Lesson 11, Lesson 14
Steven Rogers 英文の Proof Reading, 他

最後に、本書の出版にあたっては、多くの方々にお世話になりました。とりわけ、(株)南雲堂の丸小雅臣氏には多くの励ましと企画、編集、校正など多くの助言とご支援をいただきました。伊藤宏実氏には、校正段階で大変丁寧なご支援をいただきました。その他(株)南雲堂の多くの皆様方にも大変お世話になりました。ここに感謝の意を述べさせていただきます。

著者一同

《審査用見本についてのご注意》

本テキストは審査用見本版テキストでございます。目次、内容等には大きな変更はございませんが、一部表現、誤字脱字等の修正を加える可能性もございますので、予めご諒承下さい。尚、ご採用の際には、「完成品」をご使用頂けますよう何卒、宜しくお願い申し上げます。

Part 1 小学校英語を取り巻く状況

Lesson 1	An Overview of the Courses of Study	10
	学習指導要領を考える — 小中連携を視野に入れて	
Lesson 2	English Teaching Methodologies (1)	14
	主要な英語教授法の変遷を概観する — 言語習得理論を踏まえて	
Lesson 3	English Teaching Methodologies (2)	18
	小学校英語の指導法 — 楽しく効果的に	

Part 2 指導者と指導内容

Lesson 4	Teachers	24
	小学校英語の指導者 — 効果的なチーム・ティーチング	
Lesson 5	Teaching Listening	28
	リスニングの指導法—英語リズムの体得	
Lesson 6	Teaching Speaking	32
	スピーキングの指導法 — 「やり取り」「発表」「ストーリーテリング」	
Lesson 7	Teaching Reading	36
	リーディングの指導法 — 文字の識別・読解	
Lesson 8	Teaching Writing	40
	ライティングの指導法 — 大文字・小文字、語句や表現	

Part 3 活動・教材・教具

Lesson 9	Activities to Get Children Involved (1)	46
	リズム・メロディを通じた活動 — 歌・チャンツを用いて	
Lesson 10	Activities to Get Children Involved (2)	50
	知的好奇心を刺激する活動 — ゲーム・クイズを用いて	
Lesson 11	Activities to Get Children Involved (3)	54
	デジタル教材を活かした活動 — ICT・映像を用いて	
Lesson 12	Developing Children's Thinking Skills (1)	58
	考えさせる指導法（1）— 自発的に学び、考える力を育む	
Lesson 13	Developing Children's Thinking Skills (2)	62
	考えさせる指導法（2）— より豊かな思考力を目指して	

Part 4 評価と模擬授業

Lesson 14	Evaluation	68
	評価を考える — CAN-DO リストの活用	
Lesson 15	Teaching Practice	72
	模擬授業 — 指導案作成から授業実践まで	

Part 1

小学校英語を取り巻く状況



Lesson 1

An Overview of the Courses of Study



学習指導要領を考える — 小中連携を視野に入れて

2008年度の学習指導要領改訂により、「外国語活動」は小学校第5, 6学年に新設されました。その後、移行期間を経て、2011年度からは年間35単位時間の必修科目となりました。その後、2020年度施行の学習指導要領では、「外国語活動」は第3, 4学年の必修科目となり、第5, 6学年には「外国語科」という教科が新設されました。一般的に「小学校英語」と呼ばれている授業は、指導要領における「外国語活動」「外国語科」の中で、英語を中心とした外国語に関する活動や教科ということになります。

このような英語教育の早期化は、日本の英語教育に、または、日本人の英語力にどのような影響をもたらすのでしょうか。学習指導要領（2020年度）における主なポイントは以下になります。

	外国語活動	外国語科
履修義務	必修	必修教科
学年	中学年	高学年
学習時間	年間35単位時間（週1回程度）	年間70単位時間（週2回程度）
教科書	学校・教員による採択	文部科学省検定済教科書
評価	文章による評価	数値化による評価
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションを図る素地となる資質・能力の育成 ・幅広い言語に関する能力の育成 ・外国語の音声や基本的な表現への慣れ親しむこと 	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力の育成 ・「聞く」「話す」「読む」「書く」の4技能 ・音声から文字への指導 ・言語活動を通じた、文や文構造への理解 ・小中の連携

中学年では、「聞く」「話す」と言った音声面を中心としたコミュニケーションを通して、英語に慣れ親しみます。高学年では、それを素地として、中学校外国語へのつながりにも配慮された多くの活動を通して、英語を学んでいきます。例えば、英語の文字や単語などの認識、日本語と英語の音声、文構造、語順などの違いやそれぞれの特徴への気づきなどを促すことが指導者に求められます。このような段階的な活動を経て、中学校へのスムーズな連携となるような配慮がされています。

多様な言語活動を通して、児童が気持ちや考えを表現できるようになるためには、自ら思考、判断、表現する授業作りが重要です。外国語教育を取り巻く学習環境の中で、小学校で英語を教えることの意義や目的を考え、そのために知識や理解を深めていきましょう。

コミュニケーションの活動の前にウォーミングアップをすることで、授業の始まりを円滑にし、また最後のまとめをすることで学習事項の定着を図ることができます。

Let's Talk



02

HRT: Good morning, Mr. Chris!

ALT: Good morning, Mr. Tanaka. How are you today?

HRT: Good, and you?

ALT: I feel great. By the way, can you call me “Chris” or “Mr. White”?

HRT: Sure, Chris.

ALT: That's better. Thank you!

Conversation



03

Listen to the dialogue and fill in the blanks, then role play.

会話文を聞いて、空欄に適語を入れなさい。その後、パートナーと会話をしましょう。

————— <Greeting> —————

T: Hello, everyone. 1. _____ are you today?

Ss: Great, thank you.

T: Now, I'm going to take 2. _____. Please 3. _____ your hand and say, “4. _____.” Masako.

S: 4. _____ !

————— <Warming up> —————

T: What day of the 5. _____ is it today?

S: 6. _____ Monday.

T: That's 7. _____. Great! OK, let's get 8. _____ !

————— <Consolidation at the end of the lesson> —————

T: That's all for today. You all 9. _____ hard today. Did you have a good 10. _____ ?

Ss: Yes!

T: Very good! Goodbye, everyone. See you next week.

Let's Read



04

Read the passage and answer the questions.

文を読んで次の質問に答えましょう。答えの根拠となる文の行数を () に書きましょう。

田中先生が英語の授業についてプレゼンテーションをします。

Hi, I'm Haruto Tanaka, a homeroom teacher of the third grade of Nansei Elementary School in Yokohama.

Today, I gave an English lesson at my school. Honestly speaking, I was a little bit nervous. It was the first time for most students to study English at school. Afterwards, I found all of the students enjoyed the lesson and I feel better now. I'm going to talk about how it went.

Our class uses "Let's Speak Together 1," the textbook which is compliant with the latest Courses of Study. First, I showed a video. So my students could watch, and think of the people and the languages in the world. Some students noticed the Korean greeting, and most could say "hello." One student stated "jumbo" was a Swahili greeting. Many students did not know countries' names in English, and it was fun for them to learn the names.

After watching the video, I asked them a few questions in English such as the number of countries in the world, and which language was spoken in which country. I prepared everything on digital slides, so they could simply raise their hands to choose answers. Finally, we had a small discussion in Japanese about the world. I wasn't sure if we should keep on speaking in English but decided to use Japanese to encourage all my students to say what they thought. Overall, it was a good lesson for the students to learn about the world and the languages. They are now looking forward to the next English lesson.

There have been many opinions about how and when to teach English in elementary schools and I am still not sure what is the best. I believe that we should continue seeking the best for students so that they can communicate and think globally. (300 words)

- Why was Mr. Tanaka nervous? (根拠 行目)
 - Because it was his first time at school
 - Because he had never taught English at the school
 - Because most of the students had never studied English at school
- What was not likely included in his English class? (根拠 行目)
 - Korean language
 - English greeting
 - Writing the alphabet in English
- Which does he think is better to teach English in English or in Japanese? (根拠 行目)
 - English and Japanese
 - English only
 - Not sure

知っておこう! キーワード Choose the correct answer. 次の語の意味を a~eの中から選びましょう。

- compliant with ()
- the Courses of Study ()
- the third grade of elementary school ()
- homeroom teacher ()
- Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology of Japan (MEXT) ()
 - 学習指導要領
 - 準拠している
 - 小学3年生
 - 学級担任
 - (日本政府の)文部科学省

EXERCISES 確認問題

- Complete the sentences according to the directions. 指示に従って文を完成しましょう。
- After checking your answers, practice reading the correct sentences aloud. 答え合わせをしたら正しい文を音読しましょう。



① Make English sentences using the words below.

日本語を読み、英語の語句を並びかえてください。(文頭は大文字ではありません)

- では、出席を取ります。
(I'm / attendance / going / to / take / now).

- 他に今日お休みの人はいませんか?
(absent / today / is / else / who)?

- 手を挙げて「はい」と言ってください。
(your / "here" / raise / say / please / hand / and / ,).

- 私は3年の担任です。
(grade / the / homeroom / of / I'm / a / teacher / third).

- 今日、私は学校で英語の授業をしました。(There is one word missing. 1語を補ってください。)
(English / today / gave / lesson / I / school / an / ,).



② Translate the Japanese sentences into English.

日本語を読み、本文を参考にして英文を書いてください。

- 今日は何月何日ですか?
What's the _____
- 今日の天気はどうですか? (Use these words "like" and "what.")

- 一番楽しかったことは何ですか?

- 今日の授業は以上です。

- みんな、よく頑張りました。
